

「^{すさき}須崎地区森林組合親子木工教室」に参加しました

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター高知水源林整備事務所

高知水源林整備事務所は、令和元年8月11日(日)に高知県須崎市で開催された「^{すさき}須崎地区森林組合親子木工教室」に参加しました。

須崎地区森林組合が主催する本行事は、夏休みのお子さんたちを対象とし、木を使った工作を楽しんでいただくことを主体としたイベントです。当日は天気に恵まれ、南国土佐の強烈な日差しの中、多くのお子さんやご家族が来場されました。

当事務所は、高知水源林育成士と合同で、森や木にまつわるミニゲームとクイズによるスタンプラリーを企画しました。



たんころボウリング

小さな丸太をボールのように転がしてピンに見立てた丸太を倒す「たんころボウリング」では、様々なサイズのボール用丸太を用意して、大人から小さなお子さんまで幅広い年代の方にチャレンジしていただき、時に意外な方向に転がる丸太に大いに盛り上がりました。

また、指定された重量の木片を積む「木の重さ当てクイズ」では、普段はあまり触れる機会のない木片の重さを推測するのに試行錯誤しながらも楽しまれている様子でした。



木の重さ当てクイズ

「森林クイズ」では、恒例の木の漢字当てクイズのほか、オリジナルのクイズも準備し、中には少々難題もありましたが、出題者のヒントや森林に関する説明を参考にしながら回答されていました。

4つのミニゲームを終えてスタンプを集め終わった方には、最後に大きな輪切りの木を的にした「年輪ダーツ」に挑戦していただき、その結果に応じて森林組合等から提供いただいた木工品などの景品を進呈しました。

今回はお子さんを主として108名に参加いただきました。また、同行の保護者などの方々にも一緒に楽しんでいただき、木に親しみを持ってもらうとともに、森林についての理解を深めてもらえる良い機会となったのではないのでしょうか。

高知水源林整備事務所では、水源林造成事業の意義や重要性を広く知っていただくため、今後もイベント参加に積極的に取り組んでまいります。



年輪ダーツ